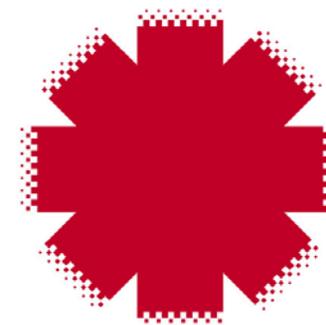


# 東燃ゼネラル石油株式会社

## 2007年1-9月/7-9月期業績および年間予想

---

2007年11月14日



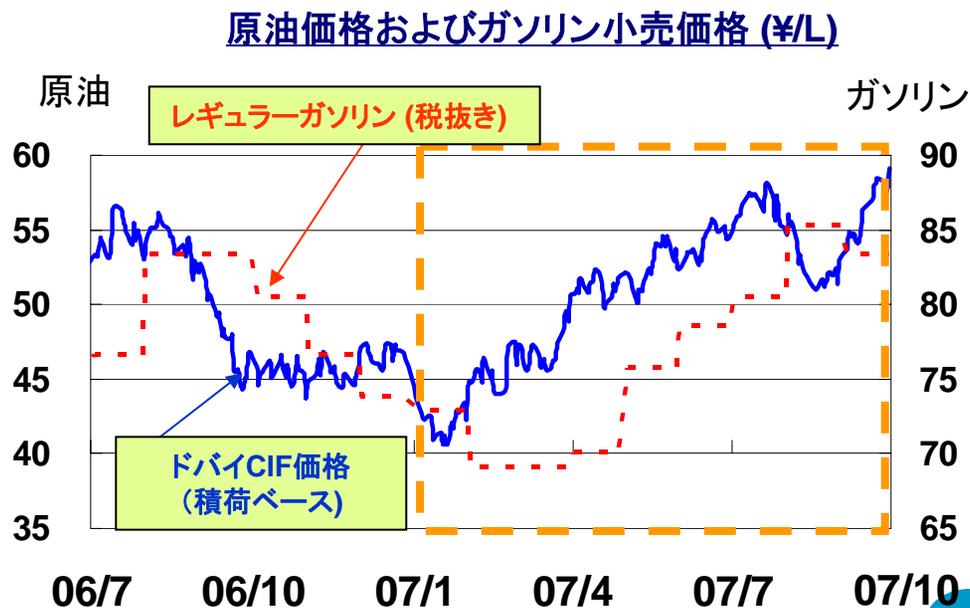
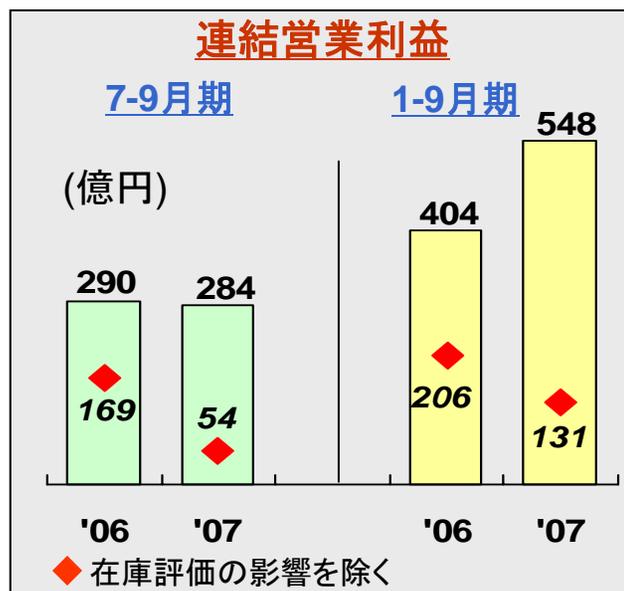
**Tonnen General**

### 見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本および世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく影響を受ける業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

# 決算ハイライト

- 1-9月期の営業利益は、在庫評価益と石油化学部門の好業績を主因に前年同期比で大幅に改善
  - » 石油部門における当社グロスマージンの低下(在庫要因を除く)
    - 業界全体の国内石油製品需要の減少
    - 原油価格の急速かつ大幅な上昇によるマージンの低下(8月の原油価格下落は一時的)
    - 業界他社より約1ヶ月早く原油価格を認識することによるマイナスの影響が拡大
  - » 石油化学部門が引き続き連結利益に貢献
    - オレフィン類が好調を持続した一方、パラキシレンのマージンはピーク時に比べると減少傾向
  - » 1-9月期の大幅な在庫評価益は、10-12月期に減少するものの通期でも高いレベル
  - » 7-9月期に200億円の自己株式を取得
    - 期末配当予想を一株当たり18.5円から19.0円に上方修正
  - » 資産の有効活用への積極的な取組み
    - 南西石油の株式譲渡契約調印



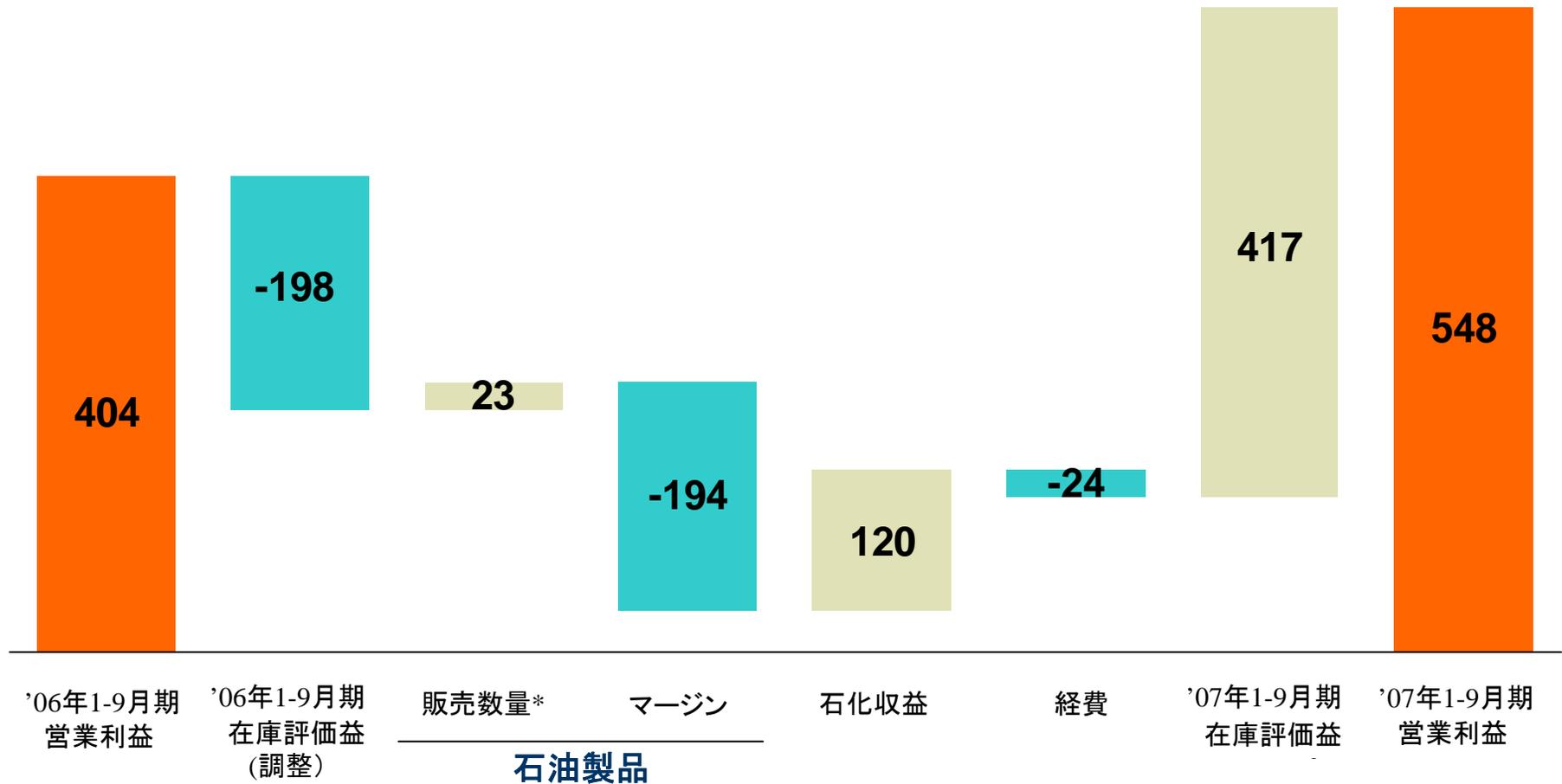
# 損益計算書 [1-9月期、連結]

(億円)	'06年	'07年		増減	
	1-9月期	中間期	7-9月期		1-9月期
売上高	22,895	14,054	7,861	<b>21,915</b>	-980
営業利益	404	264	284	<b>548</b>	144
経常利益	459	284	310	<b>594</b>	135
特別損益	-13	-6	-1	<b>-6</b>	7
当期純利益	279	171	184	<b>355</b>	77
在庫評価の調整	-198	-188	-229	<b>-417</b>	-219
調整後営業利益	206	77	54	<b>131</b>	-75
石油部門 他	-122	-266	-53	-319	-197
石油化学部門	327	343	107	450	123
＜参考＞ 原油コストを1ヶ月早く 認識することの影響(ドバイベース)	-130			-220	-90

# 営業利益の要因分析

[1-9月期連結業績、前年同期比較]

(億円)



\* 主要製品を基準とする(5ページ参照)

# 販売数量/稼働率

- 業界全体の需要不振と暖冬のため、前年同期に比べ全ての油種で販売数量が減少
- 輸出の機会を含め、収益性重視の販売に注力
  - ▶ ガソリンと中間留分(ジェット燃料、軽油、A重油)の輸出は前年同期比2倍
- 1-3月期の和歌山工場での製造プラントの定期修理により、芳香族製品の販売が減少  
オレフィン類は昨年7-9月期の川崎工場でのエチレンプラント定期修理に伴う減少の反動により増加
- 4-6月期の3工場(川崎、堺、沖縄)での定期修理のため、前年同期に比べ設備稼働率が低下  
7-9月期は大規模定修なし

石油製品 (連結、バーターを除く)		'06 1-9月期	'07 1-9月期	増減	業界 増減
(千KL)					
日本国内での販売	ガソリン	8,732	8,382	-4.0%	-1.1%
	灯油	2,650	2,490	-6.0%	-14.3%
	軽油	3,244	2,722	-16.1%	-1.7%
	A重油	2,557	2,484	-2.8%	-15.9%
	C重油	2,070	1,583	-23.5%	-10.2%
	主要5油種合計	19,253	17,661	-8.3%	-6.7%
	LPGその他	2,239	1,823	-18.6%	
	小計	21,492	19,484	-9.3%	
	その他*	6,769	6,456	-4.6%	
	石油製品合計	28,261	25,940	-8.2%	

その他\*: 潤滑油、原油、輸出、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む

化学製品 (連結)		'06 1-9月期	'07 1-9月期	増減
(千トン)				
	オレフィン類他(東燃化学分)	1,304	1,392	6.7%
	芳香族(東燃ゼネラル石油分)	570	558	-2.2%
	化学製品合計	1,874	1,949	4.0%

設備稼働率(常圧蒸留装置ベース、単体/連結)

78%/74%

76%/70%

82%

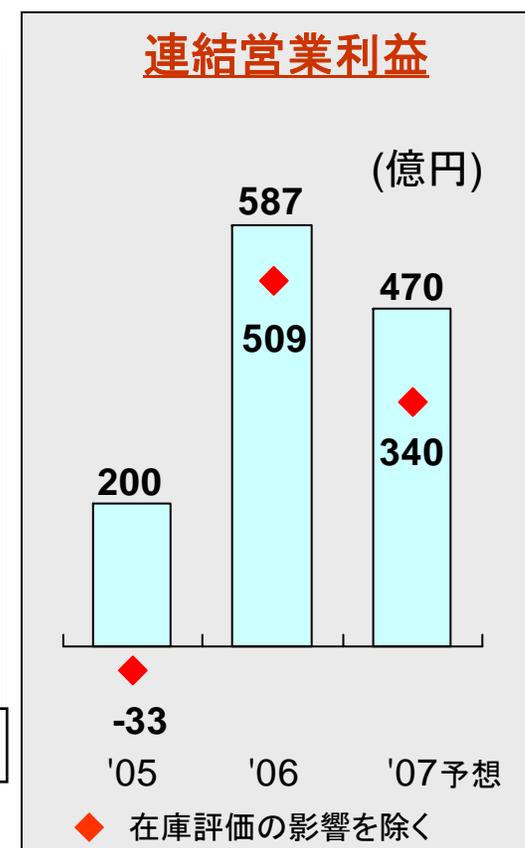
# 2007年10-12月期 業績予想前提条件

- 燃料油マージン 前回予想と同じ
- 燃料油販売数量 前回予想と同じ
- 石化製品マージン 前回予想に比べオレフィン類は上昇、芳香族は低下
- 石化製品販売数量 前回予想と同じ
- 経費 前回予想と同じ
- 在庫評価方法 後入先出法(LIFO)/低価法を継続
- 在庫評価の影響 1-9月期の大幅な在庫評価益が減少  
1-9月期 417億円 → 通期 130億円
- 原油価格・為替レート 76.7ドル/バレル(ドバイ), 115.4 円/ドル – 2007年9月末の値  
[売上高の計算のみに使用]
- 南西石油株式売却の影響 営業利益 在庫含み益の実現により20億円の利益  
特別損益 連結ベースで29億円の損失

# 業績予想の修正 [連結]

- 2007年通期の調整後営業利益は340億円と予想
- 期末の在庫水準を予想し、年末までに原油価格の大幅な変動がない前提で2007年通期で130億円の後入先出法による在庫評価益を見込む

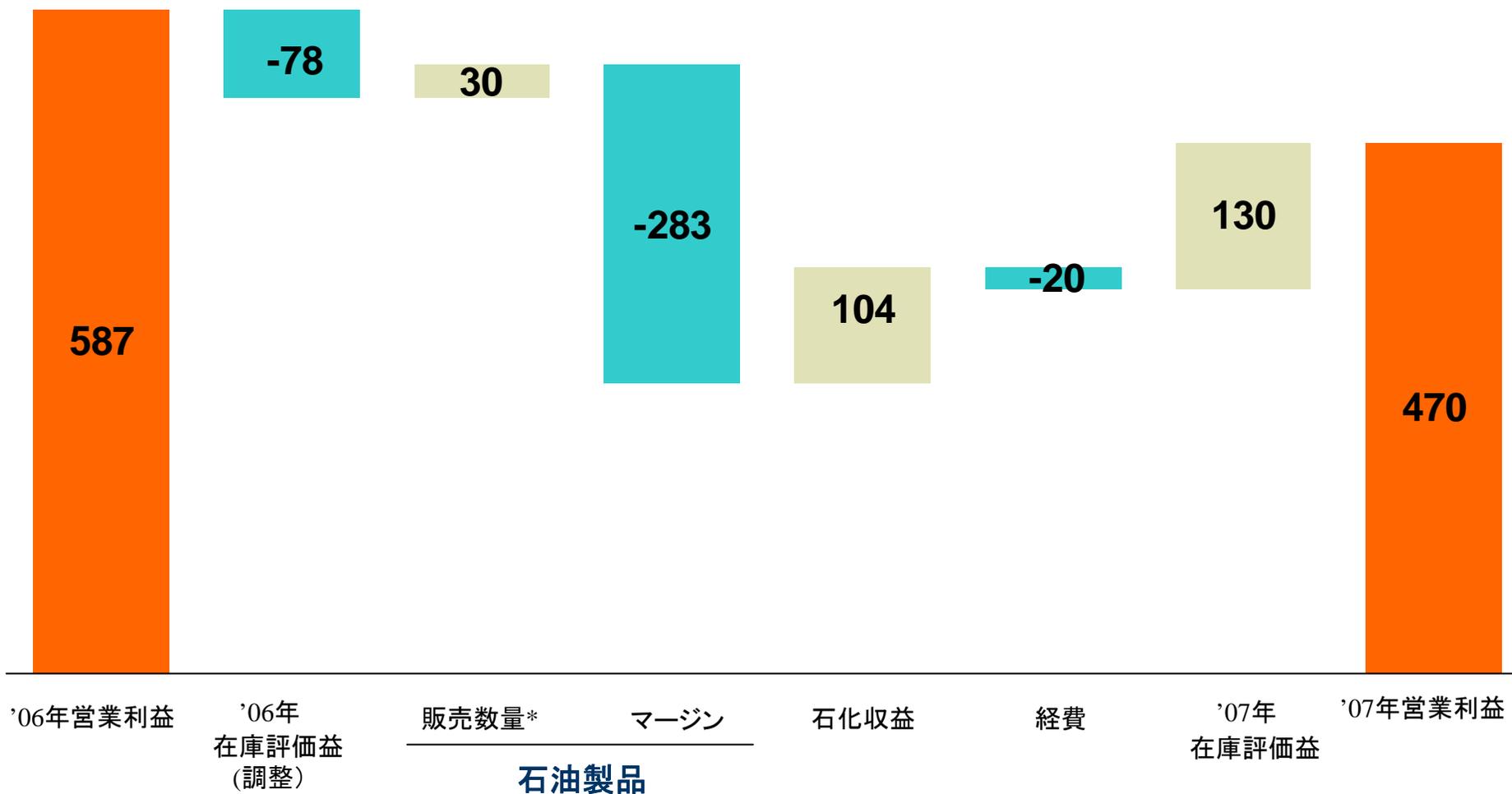
(億円)	'06実績	'07予想	1-9月期 実績	10-12月期 予想
売上高	30,788	<b>30,900</b>	21,915	8,985
営業利益	587	<b>470</b>	548	-78
経常利益	660	<b>510</b>	594	-84
特別損益	-33	<b>-40</b>	-6	-34
当期純利益	398	<b>290</b>	355	-65
在庫評価の影響	-78	<b>-130</b>	-417	+287
<b>調整後営業利益</b>	<b>509</b>	<b>340</b>	<b>131</b>	<b>209</b>
石油部門 他	14	-260	-319	59
石油化学部門	494	600	450	150



# 営業利益の要因分析

[通期連結業績、前年比較]

(億円)



\* 主要製品を基準とする(5ページ参照)

## 補足資料

---

2007年11月14日

# 南西石油株式売却の概要

## 南西石油の概要

- 資本金 76億2,500万円
- 発行済株式総数 250,000 株
- 大株主構成および所有割合  
東燃ゼネラル石油 87.5%  
住友商事株式会社 12.5%
- 最近事業年度の業績動向（1月1日-12月31日）  
[百万円]

	2005年	2006年
売上高	138,715	153,872
営業損益	228	- 371
経常損益	20	- 604
当期純損益	10	- 381
総資産	42,053	37,912
純資産	8,172	7,521
一株当たり配当金	1,080円	—

## 株式譲渡の概要

- 株式譲渡先 Petrobras International Braspetro B.V.
- 譲渡株式数 218,750 株 (議決権比率 87.5%)
- 譲渡金額(見込み) 55 億円 (一株当たり 25,143 円)
- 株式引渡予定 2008年3月

## 当社連結損益への主な影響

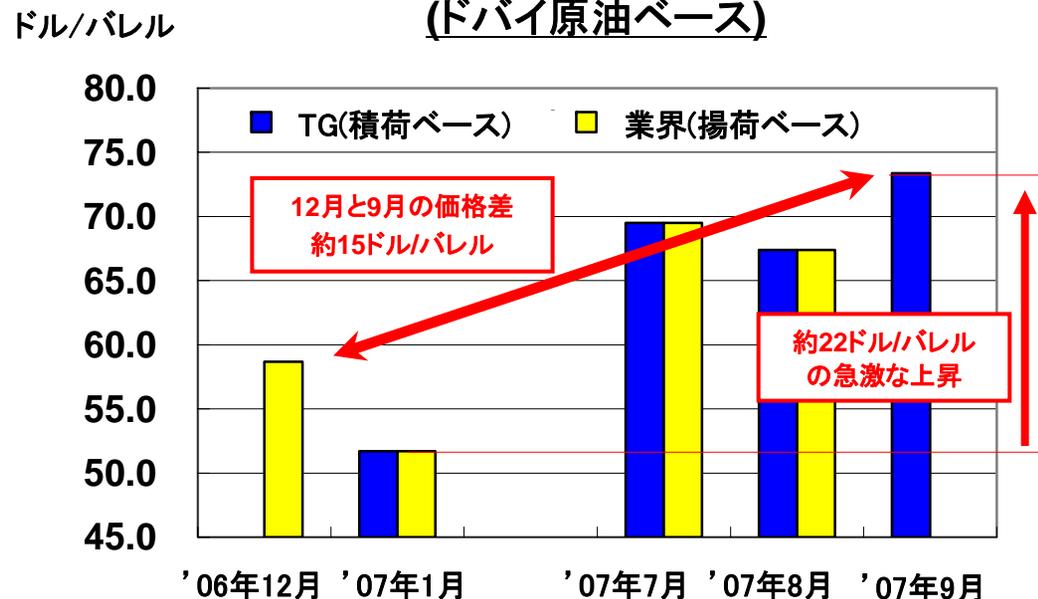
- 株式譲渡損益(\*1) : 2007年に子会社売却損失引当金として29億円の特別損失を計上  
(\*1) 株式引渡期日時点における南西石油の資産ならびに負債を調整後、最終決定
- 在庫含み益の実現に伴う利益(\*2) :  
2007年営業利益20億円  
2008年営業利益80億円

(\*2) 2007年9月末の市場価格ならびに現時点での在庫数量予測に基づく

# 原油価格を1ヶ月早く認識することによる影響

- 当社は原油調達コストを積荷時点で認識するため、原油価格の変動を業界他社よりも約1ヶ月早く認識する  
 一方、国内製品価格決定の際に参考にされる原油価格は前月積み原油が一般的
- 2007年1-9月期における、業界に比べ原油価格を約1ヶ月早く認識することの影響は、ドバイ原油ベースでおよそ220億円と推定される

原油価格を1ヶ月早く認識することによる影響  
 (ドバイ原油ベース)



当社	原価として認識される原油	1月積み	7月積み	8月積み	9月積み
	国内製品価格のベースとなる原油	12月積み	6月積み	7月積み	8月積み
業界	原価として認識される原油	12月積み	6月積み	7月積み	8月積み
	国内製品価格のベースとなる原油	12月積み	6月積み	7月積み	8月積み

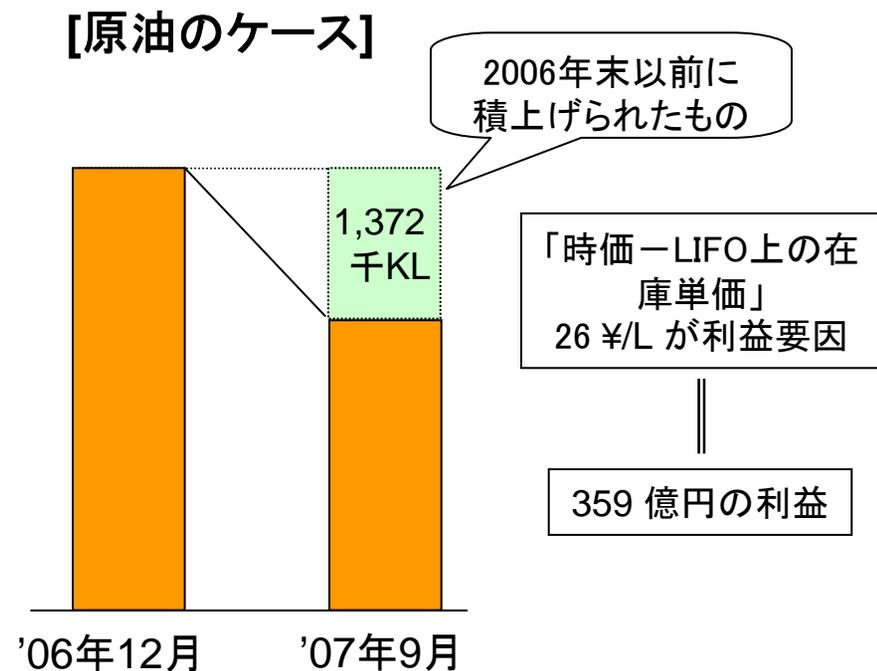
# 在庫評価の影響

## ■ 当社の在庫に関わる会計方針

- » 後入先出法 (LIFO)
- » 低価法

## ■ 2007年1-9月期の在庫増減による影響

原油	359 億円
製品	58 億円
合計	417 億円

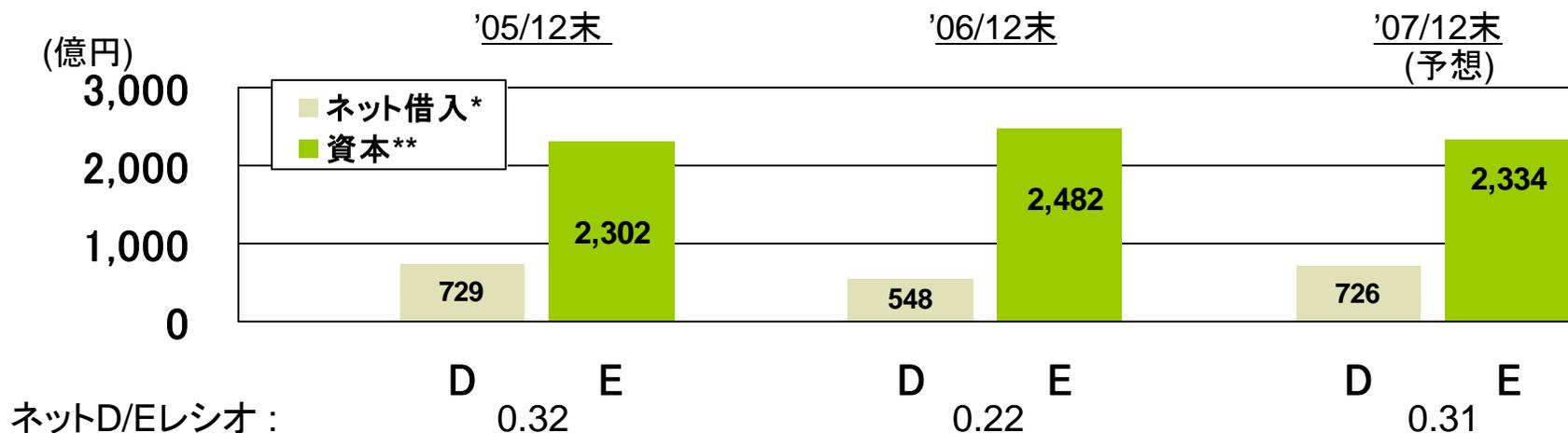


# 配当政策と2007年配当予想

## ■ 健全な財務体質と株主還元 zu 注力

- » 適正な資本構成の堅持
- » 健全なフリーキャッシュ・フローとD/Eレシオの維持
- » 7-9月期に200億円の自己株式を取得
  - 2000年の合併以降4回目
- » 2007年の1株あたり年間配当金額を37.5円と予想
  - 1株あたり18.5円の間配当と19.0円の期末配当
- » 業界環境の先行きが不透明な中、資本構成に関する様々な選択肢につき注意深く検討

年末の発行済株式総数と1株あたりの年間配当金額



\*現預金・貸付金等の影響を除いた借入金、\*\*少数株主持分を除く純資産

# 石油化学製品市況

## アジアスポット市場価格

